

令和 6 年度 総合実習（地域看護学講座担当）実施計画 案

担当：田村須賀子 鈴木悟子 城諒子 石井遥

1. 実習期間 日時

令和 6 年 11 月 11 日から 22 日の 10 日間 9:00～17:00

※ ただし実習施設の希望、開催事業により、より学習効果を高められる方法を検討して、別日に振り替えることがある。

2. 実習人数

4 年次生 3～6名

3. 一般学習目標

看護における科学的思考力を高め、マネジメント能力を養うことを通して、対象（個人・家族を含む集団）や場に応じた看護を行うための総合的実践能力を習得する。並びに、総合的看護実践を通して看護の専門性について考え、自己の看護観を深める。

4. 到達目標

- 1) 4 年次前期までに既習した実習内容、看護研究をもとに、自己課題を述べることができる。
- 2) 自己課題から、総合実習のテーマを述べることができる。
- 3) テーマに応じた実習先を選択することができる。
- 4) 自己課題に基づき対象に必要な援助について計画を立案することができる。
- 5) 自主的かつ主体的に対象に応じた看護を行うことができる。
- 6) 自己の看護実践について、自己評価することができる。

5. 進め方

- 1) 学生は、実習開始前に自己の課題に基づき、実習計画表を作成する。
- 2) 実習計画表作成後（10 月以降）に実習希望場所の指導者に学生の実習計画について教員が説明を行う。
- 3) 学生が立案した計画について教員及び実習場所の指導者の指導のもとに実習を展開する。

6. 評価について

- 1) 出席状況・実習内容・実習記録、課題レポート等により総合的に評価する。
- 2) 課題レポートは、一般学習目標、到達目標に向けて、総合実習で学んだことを A4 1 枚（両面可）にまとめ、提出する。

7. 実習日程 案

◆日程例：開始時間、実習場所は、現地と相談し決定する。

月日	内 容	場所
11月第 2 週 のうちの半日	学内オリエンテーション：事前学習の報告、実習計画表の確認	大学
11月 11 日 (月)～15 日 (金)	・実習オリエンテーション（必要に応じて） ・事業参加や家庭訪問の同行等 ・事業参加等を通して、学生の自己課題に基づいた情報収集を進め、援助計画を立案する ※援助計画は、学生主体の健康教育や家庭訪問等の個別支援を含む	実習施設 (必要時、大学)
18 日(月)～ 21 日(木)	・事業参加や家庭訪問の同行等 ・事業参加等を通して、学生の自己課題に基づいた情報収集を進め、援助計画の立案と実施にむけての準備	実習施設 (必要時、大学)
22 日(金)	・学生の自己課題に基づいた援助計画の実施 (健康教育の実施、援助計画の発表も含む) ・カンファレンス	実習施設

